神戸六甲縦走トレイルラン2025

３月８日開催、ショートコース新設

神戸市内の六甲山系を駆け抜ける恒例の「神戸六甲縦走トレイルラン2025」が３月８日、催される。今回からショートコースも設けられ、より幅広い人が参加しやすくなった。

NPO法人「日本トレイルランサーキット協議会」が催し、14回目。

コースは、従来のスタート地点・須磨浦公園＝**写真**＝から須磨アルプス、高取山、菊水山、摩耶山・掬星台、有馬温泉までの38キロに加え、新たに摩耶山・掬星台をゴールにする24キロコースを追加。素晴らしい景色を楽しみながら走れる。

神戸では昨年に引き続き、４月にも都市型トレイルランニングエンターテインメントイベント「KOBE　TRAIL」が開催される予定で、六甲山、摩耶山のトレイルエリアは大いに盛り上がっている。

参加費はロング38キロが9800円、ショート24キロが8000円。申し込みは２月16日まで（定員になり次第募集を終了）。

詳細はサイト（https://www.actrep-sports.com/rokko-trailrun/）。問い合わせはアクトレップ☎06・6699・5000

ＲＯＫＫＯ森の音ミュージアム

こたつで音楽、グルメ満喫

神戸・六甲山にある博物館「ROKKO森の音ミュージアム」は山上の冬を楽しむイベント「30th Anniversaryこたつでほっこり森の音ウィンターフェア」を開催している。

期間中は施設内の各所に設置されたこたつで温もりながら、冬にぴったりの楽曲をオルゴールなど自動演奏楽器の音色で聴くコンサート、オルゴール組立体験、ツリーハウス、森のカフェテラスなどを用意している。

コンサートルーム３階席では、大きなぬいぐるみに囲まれたスペースをオープン＝**写真上**。靴を脱いでリラックスした状態で鑑賞できる。先着４人。

さらに「SIKIドーム　ぬくぬくこたつプラン」では、屋外にある透明ドーム＝**同下**＝を１日２組限定で貸し切りに。こたつで味わえる「ラクレットチーズグリルセット」は、ジャガイモやベーコン、エビなどを焼き、チーズを溶かしてかけて食べるグルメで、おなかから温まる。

「SIKIガーデン～音の散策路～」では、冬ならではの植物を観賞できるエリアを造成。赤く色づいたモミジの枝やシャクナゲの冬芽など、グリーンシーズンとは違った魅力を楽しめる。☎078・891・1284

六甲大学 ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第３月曜日に掲載します）

根岸真理が案内　山の四季便り

冬ならでは。静けさ満ちる山上へ

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

神戸市内の六甲山系には、西部から東部にかけて５路線もの交通網があるが、冬季は設備点検などのため運休する路線が多い。

まやビューライン（ケーブルとロープウエー）は３月19日まで、六甲ケーブルは４月12日まで運休中。

神戸布引ロープウェイは今月27日～２月16日、運休を予定。六甲有馬ロープウェーは、冬季に有馬温泉の来訪者が増えるため運休期間を梅雨時期（６～７月上旬頃）に変更し、冬ダイヤで運行している。須磨浦ロープウェイと沿線の須磨浦山上遊園は、２月７日まで休日のみ営業している。

◇

中でも六甲ケーブルは、車両リニューアルと施設改修のため、例年より運休期間が長いが、通学・通勤の足でもあり、主に代替バスを運行する。午前７時から午後８時45分までのおよそ30分間隔（同０時半は欠便）。早朝・夜間はタクシーになる場合もあるが、ケーブル乗車券で利用できる。ただし所要時間10分で山上に着くケーブル便と違い、ドライブウェイを上がるため、約25分かかる。

先日乗ってみると連休で人が多かったからか、デラックスな大型バスでちょっとした旅気分に。急傾斜でカーブが多い山道だが、さすが地元観光バスの運転士さん。時折、他府県の大型バスが曲がり切れない場面を目撃するヘアピンカーブも、華麗にクリア。丁寧なハンドルさばきで快適なドライブを楽しめた。ただし降雪時はバスを運行できない場合もあるそうだ。

雪が積もると動物たちの活動の痕跡がわかる「アニマルトラッキング」が楽しめる。この足跡はウサギ

曜日や時間帯により、大型バスのほか、マイクロバスやタクシーが使われることも

公共交通網 運休に注意

◇

摩耶山に上がる、まやビューラインには代替便はない。登山道を歩くか、六甲ケーブル山上駅から冬ダイヤで運行される山上バス、六甲摩耶スカイシャトルで行くしかない。

山頂近くの展望台、掬星台の「星の駅」２階の「摩耶ビューテラスカフェ702」は、運休期間中も土日は営業する。店内にはこたつ席もあり、ハンドドリップコーヒーや手作りスイーツ、名物のカレーや軽食でゆったりくつろげる。

◇

この冬は、暖冬と言われるわりには雪が降ることが多い。うっすら雪が積もると、意外なほどいろいろな動物の足跡を見られる。ウサギ、リス、鳥…。

山上はアクセスも限られる上、寒さも厳しいが、冬ならではの魅力もいろいろ。静かな六甲山の冬をぜひ楽しんでみて。

摩耶山上にあるカフェ702のこたつでくつろぐ人たち

総合学部

◆六甲山スノーパーク「笑い転げれんで」　３月９日までの土日祝扱い日。時間は体験により異なる。六甲山スノーパーク（「六甲ケーブル下駅」から代替バスで「六甲山上駅」へ。そこから六甲山上バスで「六甲山スノーパーク」）。「転ぶ」をテーマにした、雪遊びを思う存分楽しめる冬限定プログラム＝**写真**。「雪玉相撲」「スノーボウリング」といったイベントや、これらの体験動画をＳＮＳ投稿した人限定で参加できる「雪玉風ガチャガチャ」を実施。昨年好評だった「ソリごたつ」も再登場するほか、雪玉投げが楽しめる「スノーターゲット」や、園内売店では「転がる」にちなんだ丸いフードの販売も。体験は無料（別途入園料が必要）。天候・ゲレンデ状況などにより中止する場合がある。開催時間や対象年齢など詳細はホームページで。同園☎078・891・0366

◆ KOBE　ROKKO　WEST 高取山スタンプハイク2025　２月８日９～13時、ＪＲ新長田駅、高取山、高取神社、長田神社。初心者でも登りやすく、山頂からの景色や道中の茶屋など魅力の多い高取山でスタンプラリーイベントを開催＝**写真**。スタンプ台紙は高取山内清水茶屋で配布（９～12時）。スタンプを集めると「高取山の絶景」が現れる。完成した台紙で抽選会に参加できる。山頂では本格コーヒーを無料配布（先着500杯）。彩星工科高校山岳部と一緒に、「ヨガ体験」「写真教室」の二つに分かれてグループ登山を行う企画もある（定員各20人。要申し込み、１月24日締め切り。申し込み多数の場合抽選）。中の茶屋で卓球を楽しむ企画も。少雨決行、荒天中止。参加無料。スタンプの設置場所など詳細はホームページ。神戸市お問い合わせセンター☎0570・083330

環境学部

◆再度公園で森の手入れ　２月16日10～14時半（受付９時半から）、再度公園ログハウス前集合（阪急バス61系統「水源池前」下車、徒歩30分）。国の名勝地に指定されている再度公園で森の手入れを行い＝**写真**、樹木の伐採や下草、ササ刈りなど手入れの基本的な技術を習得。午後からは森の手入れ、木工工作、自然観察が選択できる。講師はこうべ森の学校スタッフ。長袖、長ズボン、トレッキングシューズ（運動靴も可）着用。弁当、飲み物、軍手、タオル２枚持参。対象は小学４年生以上（小学生は保護者同伴）。無料。予約不要（５人以上の団体および初めての参加者は要連絡）。朝の天気予報で降水確率50％以上なら中止。こうべ森の学校の坂田さん☎078・371・5937

健康学部

◆ウエルネスウオーキング　この季節だからこそ、冷たい空気を肌で感じる　２月23日10時半～12時半、神戸市立森林植物園（神鉄北鈴蘭台駅から無料送迎バス）。10時20分までに森林展示館２階研修室集合。森林植物園の森を、運動療法、ポールウオーク、クナイプ療法などの手法を取り入れながらゆっくり歩く＝**写真**。講師は日本ウエルネスウオーキング協会認定インストラクター。小学生未満は参加不可。85歳以上の人は要相談。先着20人。1500円（別途入園料・駐車料が必要。入園料は高校生以上300円、小・中学生150円、駐車料普通車500円）。ポールは500円でレンタル可能。少雨決行、荒天中止。申し込み・問い合わせは六甲健康保養地研究会ホームページで

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/